

# 第73回兵庫県高等学校新人柔道大会 神戸地区予選 実施要項

期 日 令和6年9月28日(土) 開会式 午前10時30分  
・女子団体試合  
・男子団体試合  
・女子個人試合 全階級  
非公式計量 8:45～9:15  
公式計量(男子全階級・女子全階級)9:15～9:45  
29日(日) 開始式 午前10時00分  
・男子個人試合 全階級

場 所 グリーンアリーナ神戸 サブ体育館  
654-0163 神戸市須磨区緑台 Tel 078-796-1155

- 参加資格
- 1 2006(平成18年)年4月2日以降に生まれたもので、令和6年4月現在、当該学校在学者であること。  
(学年は2年生以下、同一学年での出場は1回限りとする。)
  - 2 出場校は本大会に参加する生徒について健康診断、健康相談をおこない健康状態を充分把握すること。
  - 3 全日本柔道連盟へ各都道府県柔道連盟より登録を完了した者であり、体力・技術等、力量を考慮して参加させること。尚、原則として転校後、6か月未満の者は出場できない。また、選手は必ず開会式(開始式)に参加すること。参加しない場合は出場を認めない。(地区予選も準ずる)(注：出場申込後の無断欠場は次の大会の出場を認めない。)

- 競技規則
- 1 国際柔道連盟試合審判規定ならびに(公財)全国高体連柔道専門部申し合わせ事項による。
  - 2 「優勢勝ち」の判定基準
    - (1) 団体試合は、「技有」又は「僅差(指導差2)」以上とする。  
チームの内容が同等の場合は代表戦を行う。代表戦の方法は競技方法で定める。
    - (2) 個人試合は、「技有」又は「僅差(指導差2)」以上とする。技による評が同等の場合は、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。延長戦は「技あり」以上があった時点、あるいは指導の数に差がついた時点で終了とする。
    - (3) 試合時間は、団体、個人試合とも3分間とし、延長戦(ゴールデンスコア)は時間制限を設けない。

- 競技方法
- 1 **男子団体試合**
    - (1) 1校1チームとし、監督1名、選手7名の計8名とする。(全日制と定時制を混えない)
    - (2) 試合当日、選手が3名に満たない学校は失格とする。(3名で申込出場可)
    - (3) 試合はトーナメント戦で実施し、各チーム5名の点取り試合とする。
    - (4) 試合は各チーム5名で行う。試合ごとのオーダーの変更を認める。ただし5名に満たない場合は、後ろ詰めとする。(先鋒・次鋒、もしくは先鋒を空ける。)
    - (5) トーナメント戦の勝敗の決定は次による。
      - 1) 判定基準：選手対選手、それぞれの試合の勝敗は、「技あり」「僅差(指導差2)」以上とする。
      - 2) 「技の内容」と「指導」の重み  
※【一本勝ち=反則勝ち>技あり>僅差(指導差2)】の順とする。

※試合終了後、同点同内容の場合、代表選手を任意に選出して代表戦を行う。  
代表戦における優勢勝ちの判定基準は、「技あり」または「僅差(指導2)」以上とする。ただし勝敗が決しない場合は、延長戦(ゴールデンスコア)を行う。延長戦の判定基準・実施方法は個人戦に準ずる。代表戦は、大将戦終了後、3分後に開始する。

※代表戦で勝敗が決しない場合の具体的な例は、次のとおり。

- ①代表戦が終了した時点で技による得点差がなく、指導差もない(0-0)あるいは指導差1(2-1あるいは1-0)の場合は延長戦を行う。
- ②延長戦では、技による得点があった段階で試合終了となる。
- ③延長戦で片方に指導が与えられて指導の数に差がなくなった場合は、そのまま試合続行となる。
- ④延長戦で指導が与えられて指導の数に差がついた場合は、その時点で試合終了となる。
- ⑤延長戦で両者に同時に指導が与えられた場合、指導の数の多い方が負けとなる。

※代表戦において、指導の累積により両者反則負けとなった場合には、スコアをリセットし、延長戦(ゴールデンスコア)において勝敗を決する。また、延長戦において指導の累積により両者反則負けとなった場合には、スコアをリセットし、再度、延長戦(ゴールデンスコア)を行い、必ず勝敗を決する。

○1回戦のオーダーは開始式までに本部に提出すること。

○2回戦からは対戦校決定後5分以内にオーダーを本部に提出すること。

(6)選手の変更は、登録選手に事故のある場合に限り、補欠の補充を2名まで認める。但し開会式開始までとする。但し開会式開始までとし、所定の「選手変更届」を本部まで提出すること。

## 2 男子個人試合

- (1)試合はトーナメント戦(参加人数によってリーグ戦の場合有)で体重別試合とし、60kg級・66kg級・73kg級・81kg級・90kg級・100kg級・100kg超級の7区分とする。
- (2)順位決定戦が行われる階級がある。

## 3 女子団体試合

- (1)1校1チームとし、監督1名、選手3名、補欠2名の計6名とする。(全日制と定時制を混えない)
- (2)試合当日、選手が2名に満たない学校は失格とする。(2名で申込出場可)
- (3)チーム編成については下記の通りとする。

【先鋒：52kg以下、中堅：63kg以下、大将：無差別】

- (4)試合はトーナメント戦で実施し、各チーム3名での点取り試合とする。  
試合ごとのオーダー変更は認めない。
- (5)2名同士の対戦で、かつ不戦が2か所となる場合は、その当該試合のみ、選手配列を後に詰めて試合を実施する。
- (6)トーナメント戦の勝敗の決定は次による。

1)判定基準：選手対選手、それぞれの試合の勝敗は、「技あり」「僅差(指導差2)」以上とする。

2)「技の内容」と「指導」の重み

※1【一本勝ち=反則勝ち>技あり>僅差(指導差2)】の順とする。

※2勝ち数の多いチームを勝ちとする。

※3※2で同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームの勝ちとする。

※4※3で同等の場合は、「技あり」による勝ち数の多いチームの勝ちとする。

※5※4で同等の場合は、代表戦を行う。代表戦は、3分後に開始する。

代表戦は「引き分け」対戦の中から抽選で選び、延長戦(ゴールデンスコア)の試合を時間無制限で行う。代表戦における優勢勝ちの判定基準は、「技あ

り」または、「指導 1」以上とする。なお、引き分け対戦がない場合は、両者反則負けなどで勝敗がつかなかった対戦を代表戦とする。また、両チームが選手の負傷などで 2 名しかおらず、「引き分け」対戦がない場合などは、代表選手を全ての対戦の中から抽選で選出して、ゴールデンスコア方式の試合を時間無制限で行う。代表戦は 3 分後に開始する。

※代表戦で「指導」の累積により両者反則負けとなった場合には、スコアをリセットし、延長戦（ゴールデンスコア）において勝敗を決する。また、延長戦において指導の累積により両者反則負けとなった場合には、スコアをリセットし、再度延長戦（ゴールデンスコア）を行い、必ず勝敗を決する。

○体重の軽い者は重い階級に出場できる。

（女子団体試合において、先鋒、中堅に出場した選手は、それを超える階級で個人試合には出場できない。）

○補欠は該当する体重区分（階級）に出場でき、補充する際の順番は問わない。

(7)選手の変更は登録選手に事故のある場合に限り、補欠の補充を 1 名まで認める。但し開会式開始までとし、所定の選手変更届を本部まで提出すること。

#### 4 女子個人試合

(1)試合はトーナメント戦（参加人数によってリーグ戦の場合有）で体重別試合とし、48kg・52kg 級・57kg 級・63kg 級・70kg 級・78kg 級・78kg 超級の 7 区分とする。

2) 順位決定戦が行われる階級がある。

参加料 団体 男子 6,000 円 女子 5,000 円  
個人 1 名につき 1,500 円

注意 1. 試合当日に監督、または引率教員の付き添いのないチームの出場は認めない。  
2. 大会プログラム・マスコミ等の掲載、個人情報保護については各選手の同意を得ること。  
3. 計量時間は、上記に示された時間とし、公式計量前 30 分間を非公式計量時間とする。  
4. 女子団体試合において、先鋒、中堅に出場した選手は、それを超える階級で個人戦には出場できない。  
5. 大会出場後の無断欠場は次の大会の出場を認めない。

その他 個人県大会出場枠  
・男子 全階級フリーで県大会出場。  
・女子 全階級フリーで県大会出場。  
\*申込後の階級変更はできません。  
・県大会への参加資格として、今大会に出場することを条件とする。  
\*地区大会にエントリーし、申込後の階級変更はできない。  
・個人戦で県大会出場権を得た選手の県大会への申し込みは神戸地区より一括して県高体連柔道部に申込みを行う。